

「ひょうごの川・自然環境調査マニュアル」について

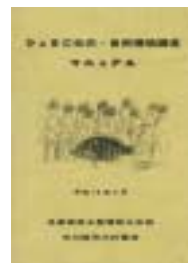
兵庫県では、平成8年5月に『治水・利水』『生態系』『水文化・景観』『親水』の4つの軸からなる『ひょうご・人と自然の川づくり』基本理念・基本方針』を策定し、人と自然が共生する川づくりに取り組んでいます。このような川づくりを一層推進するためには、河川環境の実態を的確に把握し、その情報を川づくりに反映させることが重要です。

このため、本県では、平成13年度に『ひょうごの川・自然環境調査マニュアル』を作成し、今年度から本マニュアルによる調査を実施しています。本マニュアルは、生物の生育・生息場としての河川環境に視点をあて、水系における環境実態を広域的・連続的に調査するとともに「生息種の分布」

の他、「水系内における任意の場所の重要度」や「当該河川が抱える環境課題」などを把握し、効率的かつ効果的な河川整備を支援しようとするものです。

本マニュアルには、大きく4つの特徴があります。調査項目を河川の環境実態を顕著に表す河川・植生・魚類・底生動物調査としました。専門家の視点から、生物にとって重要な環境条件に着目した調査内容としました。各調査項目毎に考察を行うだけでなく、水系全体の環境実態と課題を把握するため、調査項目全体を総合的に評価することとしました。GIS（地理情報システム）を取り込み、将来的な発展を考慮したものとしました。

多彩な表情を有する生態系を完全に把握するには、無限に近い調査項目が必要です。このことから、県内河川の生態系を完全に把握することは不可能です。最小の調査により、最大の成果が得られるよう、本調査マニュアルを検証・改善し、一層の充実を図っていきたいと考えています。



（兵庫県県土整備部
土木局河川環境室長
窪田 彰）

INFORMATION & NEWS

ARRCと読者を結ぶ広場

実験河川でオイカワが産卵

8月中旬から下旬にかけて、実験河川の蛇行（上流）ゾーンでは、オイカワの産卵行動が盛んに行われていました。オイカワは産卵行動に集中していたのか、人が近づいても逃げなかったため、間近に観察、撮影することが出来ました。

オスの体はメスより大きく、婚姻色の赤色と青緑色が鮮やかに出ており、川岸から見てもすくに見付けられる事が出来ました。

オスがたくさんのメスの中から1匹だけを選んで誘うところ、メスが卵を産むところ、他の魚が産卵直後の卵を狙って食べてしまうところ等、貴重なシーンを映像に収めることが出来ました。



オイカワのオス(中央上)とメス(中央下)

新しい展示が設置されました

研究棟の公開スペースに新しい展示システム「デジタルインタープリター」が設置されました。アニメーションや映像等の動画コンテンツを活用し、一般に難しいと思われがちな研究成果に関する情報を分かり易く紹介してくれる展示です。

実験河川が描かれたパネルに、約30テーマのアイテムが取り付けられており、その中から見学者は自分の興味のあるものを選んで手に取り、それをモニターの前のテーブル上にのせます。すると画面から研究員をモデルにしたキャラクターが登場し、選んだテーマについて川の映像やシンブルな図表を使って分かり易く説明してくれます。



デジタルインタープリターの設置

自然共生研究センターの 視察・見学について

自然共生研究センターは、どなたでも自由に視察・見学することが出来ます。皆さん、ぜひお越しください。

視察・見学をご希望の場合
所定の申請書で受付致しますので、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

電話ご利用の場合

その折、申請の方法についてご案内します。
TEL.058689 - 6036

インターネットご利用の場合

ホームページの申請書をご利用ください。
URL <http://www.pwri.go.jp/>
FAX. 058689 - 6039

メールご利用の場合

申請書を添付・送信いたします。
E-mail: kyousei4@pwri.go.jp



洪水実験を見学してきた川島小の子供達

自然共生研究センター AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER

〒501-6021 岐阜県羽島郡川島町笠田町官有地無番地
Tel 058689-6036 Fax 058689-6039
URL <http://www.pwri.go.jp/>

自然共生研究センターの英訳は、Aqua Restoration Research Center 略してARRC。この略称の発音が期せずして Noah's ark（ノアの方舟）と同じになった。

発行：独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター
ARRC NEWS No.5 2002年11月

100 古紙配合率100%再生紙
を使用しています。



交通のご案内

自動車をご利用の場合
東海北陸自動車道岐阜各務原ICより10分
（研究棟へは河川環境楽園・西口駐車場が便利です）
川島PAより徒歩で来ることができます。

電車をご利用の場合
名鉄新名古屋駅または新岐阜駅から笠松駅へ笠松駅からタクシーで10分
（笠松駅からの交通はタクシーのみです）